
柏崎刈羽原子力発電所3号機 炉心シュラウドのひび部 点検結果について

平成20年7月10日

東京電力株式会社

柏崎刈羽原子力発電所

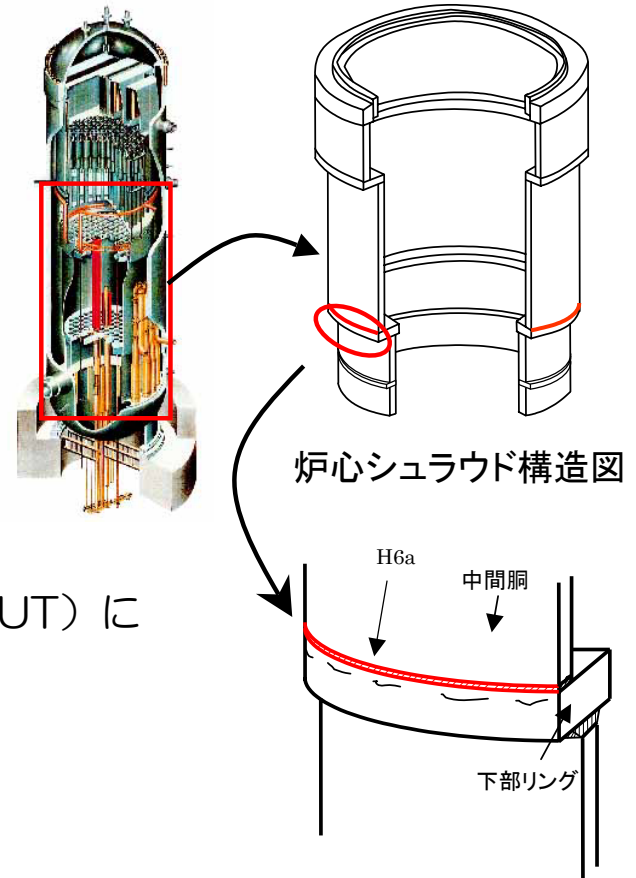
3号機炉心シュラウドのひび部の点検の位置づけ

■ 経緯

- 3号機第7回定期検査時（平成14年8月～平成16年5月）にH6a（中間胴と下部リングとの溶接部）外側溶接部近傍にひびを確認。
- 当該ひびの構造健全性を確認し、現状では隔回の定期検査毎に継続点検を行いながら、継続使用中。
- 今回の定期検査時において、計画的な継続検査を実施。

■ 点検方針

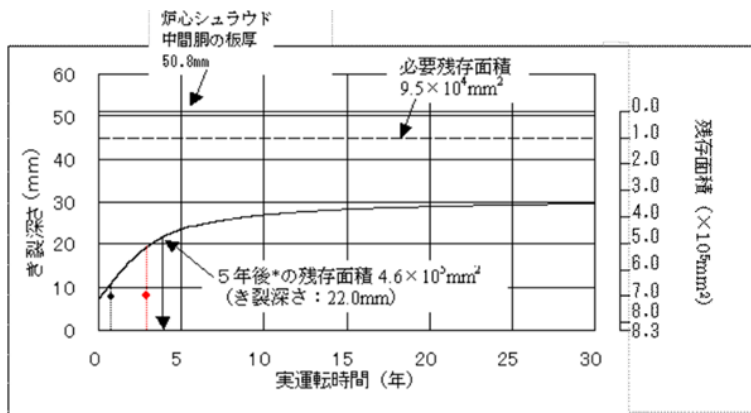
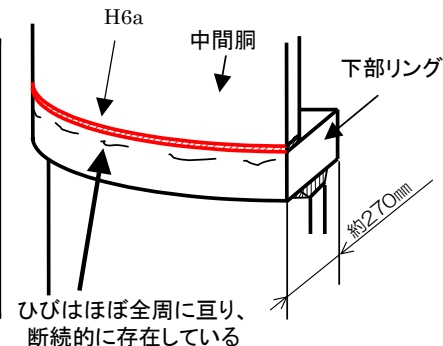
- 外観目視検査（VT）および超音波探傷試験（UT）により、ひび部の点検・深さの測定を行う。
⇒今回報告事項
- 点検結果をもとに健全性評価を実施する。



3号機炉心シュラウドのひび部の点検結果

- 当該溶接部について外観目視検査（VT）および超音波探傷試験（UT）を実施。
- 外観目視検査結果
ひびは前回と同様、ほぼ全周に亘り断続的に分布していることを確認。
- 超音波探傷試験結果

定期検査回数	平均ひび深さ	ひび進展予測値	最大ひび深さ	板厚*
第7回 (平成14年8月～平成16年5月)	7.3mm	—	11.4mm	約270mm *: 下部リング
第8回 (平成17年1月～平成17年6月)	7.9mm	10.9mm	14.3mm	
今回 第10回 (平成19年7月16日～停止中)	8.3mm	18.7mm	17.7mm	



注記 *: プラント稼働率 80%を仮定
(実運転時間=暦年×80%)

- ひびの深さは、ひび進展予測値を下回っていることを確認。